

神戸市政報告

編集・発行:自由民主党神戸市会議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
灘区

吉田健吾

よし だ けんご



決算特別委員会で質問する吉田健吾

特集 決算特別委員会で「経済観光局」、「こども家庭局」に対し、局別審査を行いました。詳細は中面をご覧ください。▶▶

市政
報告

灘区のまちの、海に、山に。 新しいプロジェクトが始まろうとしています!!

①王子動物園をリニューアルへ



12月7日の本会議一般質問において、我が会派の安達和彦団長(須磨区選出)の質問に対して、久元市長から「文教エリアとしてのポテンシャルを高め、(中略)王子動物園のリニューアルに加え、陸上競技場の在り方や、市民が憩い、くつろげる空間の創出など、王子公園駅周辺のまちづくりを、柔

軟かつ大胆な発想を持って、スピード感を持って早急に検討していきたい。」との答弁がありました。

近年、王子動物園は施設の老朽化、収益性、駐車場混雑などの課題が議会で指摘され、「他地域の広い敷地へ引越すべきではないか。」という承伏しかねる提案もされておりました。久元市長からも文教エリアのポテンシャルをより高めるといふ答弁があり、それに対して、我が会派から大学誘致の要望もしました。今後の神戸市の動きに期待したいと思います。

②HAT神戸をアートと海を感じるまちへ



供用開始から20年以上が経過し、なぎさ公園や歩道などに改修の必要性が出てきている中で、この度、回遊性向上やにぎわいの創出についての取り組みが発表されました。令和2年度予算に計上されていましたが、まずは3月末までに桜の植樹や芝生化などが実施され、その後、レガッタ等のための乗降施

設の設置、照明の増設やキッチンカーによる社会実験、新たなシンボルアート作品が設置される予定となっています。JR灘駅前再整備とともに魅力向上が期待されます。

六甲ミーツアート出展作品などの設置に加えて、三沢厚彦氏、名和晃平氏の彫刻も設置されアートが感じられるリニューアルとなりますが、ランニングやバスケットボールなどスポーツに親しむHAT神戸の機能維持も申し入れていきたいです。



③六甲山へ上水道事業が市街地と統合～値下げへ

神戸市には水道に関する条例が2つあります。「神戸市水道条例」と「神戸市六甲山上水道条例」があり、それぞれの料金体系が存在します。六甲山上は市街地と水源が違うことに加えて、かつては夏に給水量が伸び、冬の給水量が少ないという構造的な課題がありました。近年、宿泊施設やレジャー施設などの影響もあり、通年で給水量が安定しており、課題のうちの1つはクリアされていました。残す1つの課題である水源についても、新有野ポンプ場が整備され市街地と同じ阪神水道企業団の水を送ることが可能となり、この度の統合が決定しました。

家庭用については市街地の料金に合わされていましたが、事業用では市街地と比べて大きな費用負担の増加になっていました。六甲山上の活性化を進めていく中での統合がなされ、更なるにぎわい創出に繋がってほしいです。

事務所	ホテル
(口径20mm、1か月平均10㎡使用した場合)	(口径75mm、1か月平均3,000㎡使用した場合)
3,450円/月⇒880円/月(税抜)	1,120,050円/月 ⇒1,053,600円/月(税抜)
年間▲30,840円	年間▲797,400円

●令和3年2月定例会市会において議案提出予定 ●4月六甲山上の水道料金が市街地と同一料金に

六甲山上の光回線敷設完了しました。

2020年12月25日、摩耶山から六甲山にかけて、山上幹線道路沿いに光回線の敷設が完了致しました。市会議員になった当初から課題であった、山上の規制緩和、通信環境の整備の両方が整うこととなりました。活性化がますます加速するよう取り組みます。



令和元年度 決算特別委員会 局別審査

経済観光局/こども家庭局

経済観光局 令和2年10月6日(火)

■質問:吉田健吾
車やバイクの騒音問題や、夜景観光の路上駐車、車両の渋滞、車上荒らしなどの問題が発生しています。六甲山のにぎわいづくりに取り組む経済観光局としてどのように対応していくのか。

■答弁:西尾経済観光局長
記念碑台から丁字ヶ辻の区間で、スピード抑制の効果が見られるグルーピング舗装を今年度中に実施したい。六甲山・摩耶山の魅力を高めていくため、車での来訪者による問題について、警察、関係部署と今後も検討してまいります。

■質問:吉田健吾
摩耶山上の再整備も、掬星台の夜間景観をしっかりと生かしていくべきですが、夜景観光について、六甲山・摩耶山全体で、どこで見てもらうべきなのか、分散させるべきなのか、集中させるべきなのか、様々な角度で検討しなければならないのではないのでしょうか。

■答弁:安岡経済観光局観光MICE担当部長
特定の日に発生する渋滞対策と中長期的な対策とを分けて考えながら、六甲山の活性化、摩耶山の再整備の中で、他局とも連携しながら、検討してまいります。

■質問:吉田健吾
六甲山上スマートシティ構想について、御見解をいただければと思います。



■答弁:豊永経済観光局副局長
スマートシティ構想の中で、Be Smart KOBEという最先端テクノロジーを扱った取り組みを企画調整局中心で実施しています。次回の募集に向け、こうした六甲山特有の課題解決の提案も募集したい。

■質問:吉田健吾
オテル・ド・摩耶の再整備について、コロナの影響で公募は計画の組み直しになるというお話も出ていました。その先の基本的な募集の考え方については変更がないということを確認したい。

■答弁:西尾経済観光局長
整備方針については、特段の変更ございません。一方、現行のオテル・ド・摩耶ですが、令和2年度末で今の事業者は切れてしまいます。現事業者の事業継続の意向等々、もしくは今度再度ヒアリングを行います再整備事業者の意見を聞きながら検討してまいります。

■要望:吉田健吾
2019年12月に私が本会議場でも確認しましたが、六甲山グランドデザインにおけるゾーニングで、「地元の裏山」である摩耶山は地域に親しまれた活動の場であると記されている以上、公募に当たっても、しっかりとそれが織り込まれていないといけません。地元の意見をしっかりと聞き、取り組んでいただきたい。

こども家庭局 令和2年10月9日(金)

■要望:吉田健吾
新制度に移行していない幼稚園は、利用者人数によって補助金の変動するため、コロナの影響により、経営が厳しくなっている園もあり、支援が必要です。実態を把握し、適切に支援していただくよう要望いたします。

■質問:吉田健吾
コロナ禍での経済状況の悪化により、生活に困窮する方が増えています。特に独り親家庭については、その影響が顕著に表れています。独り親家庭の自立に向けて、今後どのように支援をしていくのか。

■答弁:山村こども家庭局長
国が一時的な経済的支援を行っております。それを補完する形で、就業支援を中心に実施してきました。今後とも独り親家庭の自立に向けて、継続的な支援を実施していきたい。

■質問:吉田健吾
母子保健法が改正され、産後ケア事業が法的に位置づけられ、市町村に努力義務が課せられています。産後の母子訪問型支援も実施すべきではないか。

■答弁:山村こども家庭局長
訪問型の産後ケアを行うことは、産後の母子への支援の充実につながっていくと考えております。検討してまいります。

■質問:吉田健吾
現在、妊婦には基本健診受診券が14枚交付されているが、助産師の産前・産後に使用できる「助産師見守り補助券」を追加発行してはどうか。

■答弁:東坂母子保健担当部長
産後ケアの訪問型実施の検討と併せ、助産師さんの妊産婦支援について、併せて考えさせていただけたらいいと思います。

■質問:吉田健吾
神戸2020ビジョンで、出生数1万2千人の維持を目標としたが下降の一途。非常に大きな問題だと認識していただきたい。そんな中、1世帯3人以上の子供がいる多子世帯は、このビジョンに大きく貢献していると思っているが、インパクトがある支援策がない。本市への貢献と子育ての大変さからすれば、もっとスポットライトが当たるべきだと思う。

■答弁:高田こども家庭局副局長
国の少子化社会大綱でも多子世帯への一層の配慮が重要な課題として取り上げられていた。子育て、保育、教育、住居など、様々な面で引き続き検討し、支援に努めたい。

■質問:吉田健吾
令和元年度決算で、待機児童解消に向けて約1,400人の保育定員が増加されました。パーク&ライド方式や公園の一部など、公有財産を活用した施設も新設されました。これら新たな取り組みの評価と課題について、おたずねします。

■答弁:山村こども家庭局長
市内3か所の公園を利用した保育所については、有効に機能



していると思っています。JR兵庫駅近隣のパーク&ライドは、利用者は少数ですが、今後、増加が期待できていると思っています。2年度も約千人の保育定員拡大を目指して、整備をしていきたい。

■質問:吉田健吾
小規模保育施設は0~2歳の受皿として、近年急増している。この4月には連携施設の確保が不要になる省令の改正などもされています。その対応と保護者の不安、連携側の施設の懸念などについて、御見解をお伺いいたします。

■答弁:山村こども家庭局長
近隣の施設が連携施設となることは、利用者にとってメリットもありますし、安心感もある。神戸市としましては、引き続き連携施設の設定を強く求めていきたい。

■質問:吉田健吾
子ども、子育て分野における所得制限について、撤廃や緩和を訴えてきたが、今でも所得制限がされている事業が散見される。「若者に選ばれるまち」を標榜する本市においては、撤廃や緩和をより一層率先して進めていくべきではないか。

■答弁:高田こども家庭局副局長
全ての事業において所得制限を撤廃することについては、財源の問題もありまして、なかなか困難です。国や県の動向も注視しつつ、引き続き検討してまいります。



外郭団体 に関する 特別委員会

令和2年6月より外郭団体に関する特別委員会に所属することになりました。神戸市の外郭団体は平成7年には64団体もありましたが、現在は30団体まで削減されています。この30団体と独立行政法人2団体を審査していきます。質疑した団体を抜粋して指摘事項をまとめました。

■(公財)神戸市公園緑化協会
王子動物園の遊園地部分の遊具については、計画的に改修や更新をするように検討すること。

■(一財)神戸市学校給食会
市内産米100%ではあるが、市内産食材の使用率に高い目標を持って地産地消を更に推進すること。

■(株)神戸フェリーセンター
株式会社として単年度赤字、累積債務超過の是正を精神的な努力ではなく具体策を持って対応すること。

■(公財)神戸市スポーツ協会
スポーツイベント実施に留まらず、日頃から市民が自発的にスポーツに親しめる環境づくりにも重点を置くこと。

■(一財)神戸すまいまちづくり公社
まやビューラインの2025年ケーブル100周年、ロープウェイ70周年に向けて経営の安定化を推進すること。

■(株)神戸サンセンタープラザ
三宮再整備が進んでいるが、さんプラザ・センタープラザ・センタープラザ西館についても再整備の支援をすること。

■(一財)神戸観光局
会員のプラットフォームとしての機能を充実させ、民間会員の活動を支援する組織体制にすること。

■(公財)神戸市産業振興財団
市内中小企業に関するノウハウを蓄積させ、プロパー職員を積極的に登用して経営改善をしていくこと。

■(一財)みのりの公社
六甲山牧場での但馬牛肥育頭数の拡大と、繁殖や肥育を就農希望者が勉強できるような施設にすること。

■(独)神戸市看護大学
卒業生の看護師と保健師の市内就職率を高めて、市内の医療体制に貢献すること。

神戸市の決算 令和元年度

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計(基本的な事業)	8,127億円	8,037億円
特別会計(国保、介護保険、市住等)	6,658億円	6,605億円
企業会計(バス、上下水道等)	2,332億円	2,814億円

神戸市のお金の使い道(決算)をわかりやすく

一般会計の支出を 52.7万円にします。

福祉の充実に 約21.6万円	教育・文化の振興に 約9.1万円	環境・衛生の向上に 約3.6万円
産業の振興に 約0.9万円	住宅・まちづくりに 約1.8万円	道路・公園に 約2.6万円
消防・救急に 約1.4万円	区役所・市役所の行政の運営などに 約5.7万円	市債の返済に 約6.0万円

神戸市会議員 灘区

吉田健吾

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

久元喜造神戸市長に予算要望を行いました



自由民主党神戸市議員団で久元市長に対する予算要望を行いました。会派内の要望取りまとめにも関わることができ、その冊子をお渡しするとともに直接以下の点についても要望しました。



1. 六甲山の交通体系についての具体的な全体像を示してほしい。
2. 医療産業都市を軸にヘルスケア産業をはじめ政策的に産業の柱を作り、市内の雇用増加促進を。
3. ウォーターフロントエリアに光と音楽の演出をして、夜間集客力の向上を。

要望書に記載した主な項目(抜粋)

● 難消防署の建て替え計画を早期に策定すること。● 神戸ビーフの生産を向上させるため、県市協調で施策を展開するとともに、六甲山にも神戸ビーフ館を整備し、神戸ビーフを切り口にした観光振興を図ること。● 六甲山・摩耶山の山上における車両問題(駐車場、騒音)を早急に解決するために、インフラ整備等、必要な施策を実施すること。● 六甲山をはじめとする神戸が誇る自然環境の生物多様性を守り、市民や来訪者がその自然に親しめるように取り組むこと。● 滞在型観光を推進するため、六甲山・摩耶山などの夜景観光の更なる振興とともに、新神戸駅～山上直通の都市型ロープウェイ・ケーブルの整備を検討すること。● 六甲山、摩耶山の観光振興のため、山上へのアクセスの充実、登山道や山上の歩道整備を推し進めること。● 六甲山の景観伐採をするとともに、歩きやすい山上となるよう、歩道等の整備を引き続き推進すること。● 計画的に六甲山系の治山を実施し、土砂災害が起こりにくい環境をつくること。● 大阪湾岸道路西伸部の早期開通に向けて、引き続き全力で取り組むこと。また、市道灘浜住吉川線の慢性的な渋滞を解消させるべく全庁あげて取り組むこと。● ハーバーハイウェイのETC化を早期実現すること。● 王子動物園に経営やマーケティングに長けた民間人材の投入を検討すること。● ウォーターフロントの活性化については、モザイクからなぎさ公園までの範囲でロープウェイの新設など、市民に親しまれ、観光資源にもなる神戸港としての景観の創出に配慮して進めること。

菅義偉首相・山東昭子参議院議長に、要望書を提出しました

久元喜造神戸市長と自民党神戸市市議員団は、首相官邸で菅義偉首相と面会させていただき、新型コロナウイルス感染症に関する支援迅速化のため、政令市の権限拡大が必要だと指摘し、●「特別自治市」制度の早期法制化●デジタル庁の拠点を神戸に●アフリカ開発会議など国際会議の神戸開催に向けた支援●水素エネルギーの実証実験活用に向けた支援など「神戸の新たな未来に向けた支援要望」を受け取っていただきました。



2020年11月5日

また、参議院議長公邸で山東昭子参議院議長にも面会させていただき、同要望をお受け取りいただきました。

5 新型コロナウイルスの感染リスクが高まる 5つの場面に気をつけよう

1 飲酒を伴う懇親会等
2 大人数や長時間におよぶ飲食
3 マスクなしでの会話
4 狭い空間での共同生活
5 居場所の切り替わり

気の緩みや環境の変化に注意

新型コロナウイルス専用健康相談窓口

新型コロナウイルス感染症は必ずしも発熱を伴うものではありません。下記のような方はご相談ください。

- 新型コロナウイルスの感染を心配されている方
- 予防・感染症に対する相談のある方
- 感染者と接触があった方

24時間受付 多言語対応
078-322-6250

子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市議員 吉田健吾事務所 〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8
TEL078-861-5566 FAX078-861-3456

灘区からGo!
吉田健吾ホームページ

yoshidakengo.jp



神戸市政報告

編集・発行:自由民主党神戸市会議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
灘区

吉田健吾

よし た けんご



決算特別委員会で質問する吉田健吾

特集 決算特別委員会で「経済観光局」、「こども家庭局」に対し、局別審査を行いました。詳細は中面をご覧ください。▶▶▶

市政
報告

灘区のまちの、海に、山に。

新しいプロジェクトが始まろうとしています!!

①王子動物園をリニューアルへ



12月7日の本会議一般質問において、我が会派の安達和彦団長(須磨区選出)の質問に対して、久元市長から「文教エリアとしてのポテンシャルを高め、(中略)王子動物園のリニューアルに加え、陸上競技場の在り方や、市民が憩い、くつろげる空間の創出など、王子公園駅周辺のまちづくりを、柔

軟かつ大胆な発想を持って、スピード感を持って早急に検討していきたい。」との答弁がありました。

近年、王子動物園は施設の老朽化、収益性、駐車場混雑などの課題が議会で指摘され、「他地域の広い敷地へ引越すべきではないか。」という承伏しかねる提案もされておりました。久元市長からも文教エリアのポテンシャルをより高めるといふ答弁があり、それに対して、我が会派から大学誘致の要望もしました。今後の神戸市の動きに期待したいと思えます。

②HAT神戸をアートと海を感じるまちへ



供用開始から20年以上が経過し、なぎさ公園や歩道などに改修の必要性が出てきている中で、この度、回遊性向上やにぎわいの創出についての取り組みが発表されました。令和2年度予算に計上されていましたが、まずは3月末までに桜の植樹や芝生化などが実施され、その後、レガッタ等のための乗降施

設の設置、照明の増設やキッチンカーによる社会実験、新たなシンボルアート作品が設置される予定となっています。JR灘駅前再整備とともに魅力向上が期待されます。

六甲ミーツアート出展作品などの設置に加えて、三沢厚彦氏、名和晃平氏の彫刻も設置されアートが感じられるリニューアルとなりますが、ランニングやバスケットボールなどスポーツに親しむHAT神戸の機能維持も申し入れていきたいです。



③六甲山へ上水道事業が市街地と統合～値下げへ

神戸市には水道に関する条例が2つあります。「神戸市水道条例」と「神戸市六甲山上水道条例」があり、それぞれの料金体系が存在します。六甲山上は市街地と水源が違うことに加えて、かつては夏に給水量が伸び、冬の給水量が少ないという構造的な課題がありました。近年、宿泊施設やレジャー施設などの影響もあり、通年で給水量が安定しており、課題のうちの1つはクリアされていました。残す1つの課題である水源についても、新有野ポンプ場が整備され市街地と同じ阪神水道企業団の水を送ることが可能となり、この度の統合が決定しました。

家庭用については市街地の料金に合わされていましたが、事業用では市街地と比べて大きな費用負担の増加になっていました。六甲山上の活性化を進めていく中での統合がなされ、更なるにぎわい創出に繋がってほしいです。

事務所	ホテル
(口径20mm、1か月平均10㎡使用した場合)	(口径75mm、1か月平均3,000㎡使用した場合)
3,450円/月⇒880円/月(税抜)	1,120,050円/月 ⇒1,053,600円/月(税抜)
年間▲30,840円	年間▲797,400円

●令和3年2月定例会において議案提出予定 ●4月六甲山上の水道料金が市街地と同一料金に

六甲山上の光回線敷設完了しました。

2020年12月25日、摩耶山から六甲山にかけて、山上幹線道路沿いに光回線の敷設が完了致しました。市会議員になった当初から課題であった、山上の規制緩和、通信環境の整備の両方が整うこととなりました。活性化がますます加速するよう取り組みます。



令和元年度 決算特別委員会 局別審査

経済観光局/子ども家庭局

経済観光局 令和2年10月6日(火)

■質問:吉田健吾

車やバイクの騒音問題や、夜景観光の路上駐車、車両の渋滞、車上荒らしなどの問題が発生しています。六甲山のにぎわいづくりに取り組む経済観光局としてどのように対応していくのか。

■答弁:西尾経済観光局長

記念碑台から丁字ヶ辻の区間で、スピード抑制の効果が見られるグルーピング舗装を今年度中に実施したい。六甲山・摩耶山の魅力を高めていくため、車での来訪者による問題について、警察、関係部署と今後も検討してまいります。

■質問:吉田健吾

摩耶山上の再整備も、掬星台の夜間景観をしっかりと生かしていくべきですが、夜景観光について、六甲山・摩耶山全体で、どこで見てもらうべきなのか、分散させるべきなのか、集中させるべきなのか、様々な角度で検討しなければならないのではないのでしょうか。

■答弁:安岡経済観光局観光MICE担当部長

特定の日に発生する渋滞対策と中長期的な対策とを分けて考えながら、六甲山の活性化、摩耶山の再整備の中で、他局とも連携しながら、検討してまいります。

■質問:吉田健吾

六甲山上スマートシティ構想について、御見解をいただければと思います。

■答弁:豊永経済観光局副局長

スマートシティ構想の中で、Be Smart KOBEという最先端テクノロジーを扱った取り組みを企画調整局中心で実施しています。次回の募集に向け、こうした六甲山特有の課題解決の提案も募集したい。

■質問:吉田健吾

ホテル・ド・摩耶の再整備について、コロナの影響で公募は計画の組み直しになるというお話も出ていました。その先の基本的な募集の考え方については変更がないということを確認したい。

■答弁:西尾経済観光局長

整備方針については、特段の変更ございません。一方、現行のホテル・ド・摩耶ですが、令和2年度末で今の事業者は切れてまいります。現事業者の事業継続の意向等々、もしくは今度再度ヒアリングを行います再整備事業者の意見を聞きながら検討してまいります。

■要望:吉田健吾

2019年12月に私が本会議場でも確認しましたが、六甲山グランドデザインにおけるゾーニングで、「地元の裏山」である摩耶山は地域に親しまれた活動の場であると記されている以上、公募に当たっても、しっかりとそれが織り込まれていないといけない。地元の意見をしっかりと聞き、取り組んでいただきたい。

子ども家庭局 令和2年10月9日(金)

■要望:吉田健吾

新制度に移行していない幼稚園は、利用者人数によって補助金変動するため、コロナの影響により、経営が厳しくなっている園もあり、支援が必要です。実態を把握し、適切に支援していただくよう要望いたします。

■質問:吉田健吾

コロナ禍での経済状況の悪化により、生活に困窮する方が増えています。特にひとり親家庭については、その影響が顕著に表れています。ひとり親家庭の自立に向けて、今後どのように支援していくのか。

■答弁:山村子ども家庭局長

国が一時的な経済的支援を行っております。それを補完する形で、就業支援を中心に実施してきました。今後ともひとり親家庭の自立に向けて、継続的な支援を実施していきたい。

■質問:吉田健吾

母子保健法が改正され、産後ケア事業が法的に位置づけられ、市町村に努力義務が課せられています。産後の母子訪問型支援も実施すべきではないか。

■答弁:山村子ども家庭局長

訪問型の産後ケアを行うことは、産後の母子への支援の充実につながっていくと考えております。検討していきたい。

■質問:吉田健吾

現在、妊婦には基本健診受診券が14枚交付されているが、助産師の産前・産後に使用できる「助産師見守り補助券」を追加発行してはどうか。

■答弁:東坂母子保健担当部長

産後ケアの訪問型実施の検討と併せ、助産師さんの妊産婦支援について、併せて考えさせていただけたらいいと思います。

■質問:吉田健吾

神戸2020ビジョンで、出生数1万2千人の維持を目標としたが下降の一途。非常に大きな問題だと認識していただきたい。そんな中、1世帯3人以上の子供がいる多子世帯は、このビジョンに大きく貢献していると思っているが、インバクトがある支援策がない。本市への貢献と子育ての大変さからすれば、もっとスポットライトが当たるべきだと思う。

■答弁:高田子ども家庭局副局長

国の少子化社会大綱でも多子世帯への一層の配慮が重要な課題として取り上げられていた。子育て、保育、教育、住居など、様々な面で引き続き検討し、支援に努めたい。

■質問:吉田健吾

令和元年度決算で、待機児童解消に向けて約1,400人の保育定員が増加されました。パーク&ライド方式や公園の一部など、公有財産を活用した施設も新設されました。これら新たな取り組みの評価と課題について、おたずねします。

■答弁:山村子ども家庭局長

市内3か所の公園を利用した保育所については、有効に機能

していると思っています。JR兵庫駅近隣のパーク&ライドは、利用者は少数ですが、今後、増加が期待できると考えています。2年度も約千人の保育定員拡大を目指して、整備をしていきたい。

■質問:吉田健吾

小規模保育施設は0~2歳の受皿として、近年急増している。この4月には連携施設の確保が必要になる省令の改正などもされています。その対応と保護者の不安、連携側の施設の懸念などについて、御見解をお伺いいたします。

■答弁:山村子ども家庭局長

近隣の施設が連携施設となることは、利用者にとってメリットもありますし、安心感もある。神戸市としましては、引き続き連携施設の設置を強く求めていきたい。

■質問:吉田健吾

子ども、子育て分野における所得制限について、撤廃や緩和を訴えてきたが、今でも所得制限がされている事業が散見される。「若者に選ばれるまち」を標榜する本市においては、撤廃や緩和をより一層率先して進めていくべきではないか。

■答弁:高田子ども家庭局副局長

全ての事業において所得制限を撤廃するということは、財源の問題もありまして、なかなか困難です。国や県の動向も注視しつつ、引き続き検討してまいります。



外郭団体 に関する 特別委員会

令和2年6月より外郭団体に関する特別委員会に所属することになりました。神戸市の外郭団体は平成7年には64団体もありましたが、現在は30団体まで削減されています。この30団体と独立行政法人2団体を審査していきます。質疑した団体を抜粋して指摘事項をまとめました。

■(公財)神戸市公園緑化協会

王子動物園の遊園地部分の遊具については、計画的に改修や更新するように検討すること。

■(一財)神戸市学校給食会

市内産米100%ではあるが、市内産食材の使用率に高い目標を持って地産地消を更に推進すること。

■(株)神戸フェリーセンター

株式会社として単年度赤字、累積債務超過の是正を精神的な努力ではなく具体策を持って対応すること。

■(公財)神戸市スポーツ協会

スポーツイベント実施に留まらず、日頃から市民が自発的にスポーツに親しめる環境づくりにも重点を置くこと。

■(一財)神戸すまいまちづくり公社

まやビューラインの2025年ケーブル100周年、ロープウェイ70周年に向けて経営の安定化を推進すること。

■(株)神戸サンセンタープラザ

三宮再整備が進んでいるが、さんプラザ・センタープラザ・センタープラザ西館についても再整備の支援をすること。

■(一財)神戸観光局

会員のプラットフォームとしての機能を充実させ、民間会員の活動を支援する組織体制にすること。

■(公財)神戸市産業振興財団

市内中小企業に関するノウハウを蓄積させ、プロパー職員を積極的に登用して経営改善をしていくこと。

■(一財)みのりの公社

六甲山牧場での但馬牛肥育頭数の拡大と、繁殖や肥育を就農希望者が勉強できるような施設にすること。

■(独)神戸市看護大学

卒業生の看護師と保健師の市内就職率を高めて、市内の医療体制に貢献すること。

神戸市の決算 令和元年度

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計(基本的な事業)	8,127億円	8,037億円
特別会計(国保、介護保険、市住等)	6,658億円	6,605億円
企業会計(バス、上下水道等)	2,332億円	2,814億円

神戸市のお金の使い道(決算)をわかりやすく

一般会計の支出を 52.7万円にします。

福祉の充実に	教育・文化の振興に	環境・衛生の向上に
約21.6万円	約9.1万円	約3.6万円
産業の振興に	住宅・まちづくりに	道路・公園に
約0.9万円	約1.8万円	約2.6万円
消防・救急に	区役所・市役所の行政の運営などに	市債の返済に
約1.4万円	約5.7万円	約6.0万円

神戸市会議員 灘区

吉田健吾

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

市政報告

久元喜造神戸市長に予算要望を行いました



自由民主党神戸市会議員団で久元市長に対する予算要望を行いました。会派内の要望取りまとめにも関わることができ、その冊子をお渡しするとともに直接以下の点についても要望しました。

吉田健吾から
要望

1. 六甲山の交通体系についての具体的な全体像を示してほしい。
2. 医療産業都市を軸にヘルスケア産業をはじめ政策的に産業の柱を作り、市内の雇用増加促進を。
3. ウォーターフロントエリアに光と音楽の演出をして、夜間集客力の向上を。

要望書に記載した主な項目(抜粋)

● 灘消防署の建て替え計画を早期に策定すること。● 神戸ビーフの生産を向上させるため、県市協調で施策を展開するとともに、六甲山にも神戸ビーフ館を整備し、神戸ビーフを切り口にした観光振興を図ること。● 六甲山・摩耶山の山上における車両問題(駐車場、騒音)を早急に解決するために、インフラ整備等、必要な施策を実施すること。● 六甲山をはじめとする神戸が誇る自然環境の生物多様性を守り、市民や来訪者がその自然に親しめるように取り組むこと。● 滞在型観光を推進するため、六甲山・摩耶山などの夜景観光の更なる振興とともに、新神戸駅～山上直通の都市型ロープウェイ・ケーブルの整備を検討すること。● 六甲山、摩耶山の観光振興のため、山上へのアクセスの充実、登山道や山上の歩道整備を推し進めること。● 六甲山の景観伐採をするとともに、歩きやすい山となるよう、歩道等の整備を引き続き推進すること。● 計画的に六甲山系の治山を実施し、土砂災害が起こりにくい環境をつくること。● 大阪湾岸道路西伸部の早期開通に向けて、引き続き全力で取り組むこと。また、市道灘浜住吉川線の慢性的な渋滞を解消させるべく全庁あげて取り組むこと。● ハーバーハイウェイのETC化を早期実現すること。● 王子動物園に経営やマーケティングに長けた民間人材の投入を検討すること。● ウォーターフロントの活性化については、モザイクからなぎさ公園までの範囲でロープウェイの新設など、市民に親しまれ、観光資源にもなる神戸港としての景観の創出に配慮して進めること。

市政報告

菅義偉首相・山東昭子参議院議長に、要望書を提出しました

久元喜造神戸市長と自民党神戸市会議員団は、首相官邸で菅義偉首相と面会させていただき、新型コロナウイルス感染症に関する支援迅速化のため、政令市の権限拡大が必要だと指摘し、●「特別自治市」制度の早期法制化 ● デジタル庁の拠点を神戸に ● アフリカ開発会議など国際会議の神戸開催に向けた支援 ● 水素エネルギーの実証実験活用に向けた支援など「**神戸の新たな未来に向けた支援要望**」を受け取っていただきました。



2020年11月5日

また、参議院議長公邸で山東昭子参議院議長にも面会させていただき、同要望をお受け取りいただきました。

5 新型コロナウイルスの感染リスクが高まる 5つの場面に気をつけよう

1 飲酒を伴う懇親会等
2 大人数や長時間におよぶ飲食
3 マスクなしでの会話
4 狭い空間での共同生活
5 居場所の切り替わり

気の緩みや環境の変化に注意

新型コロナウイルス専用健康相談窓口

新型コロナウイルス感染症は必ずしも発熱を伴うものではありません。下記のような方はご相談ください。

- 新型コロナウイルスの感染を心配されている方
- 予防・感染症に対する相談のある方
- 感染者と接触があった方

24時間受付 多言語対応
078-322-6250

子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市議員 吉田健吾事務所 〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8 TEL078-861-5566 FAX078-861-3456

灘区からGo!

吉田健吾ホームページ

yoshidakengo.jp



2021.1.11

発行:自由民主党神戸市会議員団
〒657-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
Tel.078-322-5846

.....

市政報告送付のご案内

謹啓

新春の候、皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今回の自由民主党神戸市会議員団市政報告は、令和元年度神戸市決算特別委員会での「経済観光局」、「こども家庭局」に対する局別審査を中心にまとめました。ご一読賜りますようお願い申し上げます。

謹白

.....

市政報告会延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年春より、「吉田健吾市政報告会」は、延期の状況が続いております。ご来場いただく方々の健康と安全を最優先に考えたうえのことですので、ご理解のほどお願い申し上げます。

開催日が決まりましたら、あらためてご案内させていただきます。

.....

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

灘区
神戸市会議員
自由民主党神戸市会議員団

吉田健吾
よし たけむす

〒657-0835 神戸市灘区灘北通3丁目2-8
TEL078-861-5566 FAX078-861-3456
E-mail: gogo@yoshidakengo.jp



長田区版

自由民主党 神戸市会議員団 市政報告

【編集】

自由民主党神戸市会議員団
長田区選出

平井まち子

2020年
冬号

2020年6月から12月までの議会活動を振り返り、ご報告させていただきます。

6月市会

2020年6月11日～26日

神戸市会 副議長に就任

令和2年度第1回定例会市会(6月市会)において議長・副議長の選挙が行われ、議長には壬生潤議員(垂水区選出・公明党)が、副議長には平井真千子(長田区選出・自民党)が選出されました。

議長は、市会を代表するとともに、議場の秩序を守り、会議を進めます。副議長は、議長が不在の時などに、議長の代わりを務めます。

議会を代表して行事への参列や賓客対応等も務めます



日本・ルワンダ友好議連と共に大使をお迎え



姉妹都市ブリスベンとオンラインで交流



来年発足のWEリーグのチェアが神戸を視察



市役所2号館のお別れ式典に参列



副議長就任の挨拶

このたび、神戸市会議長、副議長に就任いたしました。

現在は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の解除に伴い、新たな生活様式を取り入れながら、感染症対策に市民一丸で取り組むことが必要な時期であります。

そのような中、議会に対する期待は日々高まっており、議会といたしましても積極的に施策を提案するとともに、市民の信託に応えていくことが求められております。私たちは、市民の代表として議会の活動を通じ、将来の神戸のために一層の努力を重ねていかなければなりません。

このような重要なときに当たりまして、微力ではありますが議長を補佐し、共に職責を果たせるよう、できる限りの努力をしまっている所存です。皆様方におかれましては、今後一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

※6月11日の議場における挨拶を一部編集して掲載

11月市会

2020年11月27日～12月8日

コロナ感染拡大の警戒が強まる中 市民生活を支える補正予算を可決

コロナウイルス新規感染者が継続的に発生している状況のなか、11月市会では感染拡大防止・医療提供体制の安定的確保に努めるとともに、「withコロナ」時代における市民生活や市内事業者の経済活動を支えていくため、新型コロナウイルス感染症対策にかかる補正予算第4弾を審議、可決しました。5月の臨時市会から、4度にわたる大規模な補正予算編成を経て、コロナ対策を強化してまいりました。



12月7日、むらの誠一議員の一般質問

◆新型コロナウイルス感染症対策補正予算(第4弾)

総額60億9,100万円

主な内容

検査・医療提供体制の確保

- 介護・障害入所施設の職員等へのPCR検査の実施(2億9,200万円)
- インフルエンザ流行期における相談・診療体制の確保(2億6,000万円)
- 市民病院におけるwithコロナ対策(1億5,700万円)

その他の財政需要

- 磯上公園の代替グラウンド整備(4億4,700万円)
- 高潮防災対策(3億9,400万円)
- 学校トイレの洋式化改修(43億3,000万円)

市民生活の維持・支援と新しい生活様式への対応

- ひとり親家庭への臨時給付金(1世帯2万円、第2子以降1人につき1万円加算)(3億2,500万円)
- 離職者の介護業界への参入促進「コウベdeカイゴ」(5,600万円)

コロナの影響により離職された方が介護業界へ就職した際に就職祝い金1万円、6ヶ月就労継続で定着一時金10万円を支給



- 公共交通事業者に対する運行継続支援(9,200万円)

可決した主な議案

今受けられる補助金等(コロナ関連)

神戸市

☐ 飲食店のプレミアム付き先払いチケット
令和3年3月31日まで(ただし予算額を満たした時点で終了)



☐ 持続化給付金
令和3年1月15日まで

国

☐ 家賃支援給付金
令和3年1月15日まで

☐ 雇用調整助成金

経営全般についての相談は
ひょうご・神戸経営相談センター
☎078-977-9079
(平日9:00～17:00)

発熱・せきなどの症状があれば
まずはかかりつけ医に電話を。



かかりつけ医が不在のときは
新型コロナウイルス専用健康相談窓口
☎078-322-6250
(24時間受付・多言語対応可)

6月市会

2020年6月11日～26日

6月市会では市会の新体制を決定するとともに、コロナ対策関連の補正予算議案などを審議し、一般質問が行われました。

◆新型コロナウイルス感染症対策補正予算(第2弾)

総額112億3,000万円

主な内容

検査・医療提供体制の確保

- PCR検査室開設費の補助など(6億9,200万円)
- ウォークスルー検査の導入(1億1,200万円)
- 中央市民病院にコロナ臨時病棟を整備(5億円)
- 感染患者の入院医療費を公費で負担(5億1,500万円)
- 医療機関や避難所等の医療物資の確保(3億3,000万円)
- 学校園の保健衛生用品の確保(5,700万円)



経済活動の維持・回復

- チャレンジ支援補助金の拡充(10億円)
- プレミアム付商品券発行(3億)
- 県の休業要請に応じた事業者への支援(4億5,700万円)
- こうべ文化芸術・スポーツ活動応援事業(1億6,400万円)

市民生活の維持・支援と新しい生活様式への対応

- 低所得のひとり親世帯への給付(17億円)
・児童扶養手当を受給する世帯に5万円給付(第2子以降3万円加算)
・コロナの影響で収入が大幅に減少する世帯に追加で5万円
- 生活困窮者に対する住宅確保給付金(3億700万円)
- 国保料・介護保険料の減免(10億1,400万円)
- 妊婦へのタクシー利用料助成(2億200万円)
- 市内大学生への支援(1億800万円)
- 学校再開に伴う学びの保障・感染症対策(9億6,100万円)
- 小中学校にノートパソコン整備(4億4,100万円)



◆その他

副市長の岡口憲義氏、寺崎秀俊氏の後任に企画調整局担当局長の今西正男氏と、総務省自治税務局市町村税課長の恩田馨氏を起用する人事案件に同意しました。

可決した主な議案

9月市会

2020年9月18日～10月28日

令和元年度各会計決算を認定

9月市会では令和元年度決算および関連議案計24件について決算特別委員会を設置し、局別に審査を行いました。その結果、10月27日の本会議で全て認可・可決。また補正予算・条例改正などの議案も可決しました。

◆平成30年度決算

実質収支・プライマリーバランスの黒字を確保していること、コロナ禍による減収が予想されるがまちの魅力と活力を高める施策を展開することに期待し、承認しました。

◆新型コロナウイルス感染症対策補正予算(第3弾) 総額82億4,700万円

主な内容

検査・医療提供体制の確保

- 妊婦へのPCR検査の拡充(1億2,300万円)
- 軽症者の宿泊療養施設の通年化(10億700万円)
- 児童福祉施設等の感染防止対策(11億300万円)
- その他社会福祉施設等における感染防止対策等

市民生活の維持・支援と新しい生活様式への対応

- GIGAスクール構想(1人1台端末)の推進(17億3,700万円)
- 障害者の就労継続を支援(1億1,400万円)
- その他野外活動の推進等

経済活動の維持・回復

- プレミアム付宿泊クーポン、KOBE観光スマートパスポートの販売(2億5,300万円)
- 思い出の飲食店・商店街魅力発信事業(800万円)



災害復旧等

- 7月「梅雨前線豪雨」の災害復旧(10億5,400万円)

可決した主な議案

菅総理大臣に要望書を提出 2020.11.12

11月12日、自民党神戸市議員団は久元喜造神戸市長と共に総理大臣官邸を訪問し、菅総理大臣に要望書を提出。要望内容は、デジタル庁の神戸拠点設置、海洋産業都市神戸への支援、水素活用モデル都市への支援などです。

このうち特に「特別自治市」の項目が報道されるとところとなりました。「特別自治市」とは、規模の大きい政令指定都市が、都道府県の事務を全て行うもので、指定都市市長会が提唱している制度です。

二重行政の解消の手段として、政令指定都市に権限を集中させる方法が法制化されるためにはこれから国民的議論が必要です。この要望の後、横浜、大阪、名古屋、京都、そして神戸の自民党市議団による勉強会も立ち上げ、基礎自治体による住民自治を守るためのアクションを開始しています。

神戸の新たな未来に向けた支援要望

- 「特別自治市」制度の早期法制化を
- 「デジタル庁」の拠点を神戸へ
- 国際都市・神戸の更なる発展に向けた支援を
- 海洋産業都市・神戸の発展に向けた支援を



兵庫県・神戸市調整会議に出席 2020.12.15

兵庫県と神戸市の代表者が集い、共通の課題について協議する「県・市調整会議」に出席し、私からは以下について意見を述べました。

- ・三宮、県庁周辺等の再整備に係る連携の促進
- ・新長田合同庁舎周辺の活性化
- ・空き家空き地対策の連携
- ・県民緑税のさらなる市内での活用



長田神社前駅周辺の環境向上へ提言書を提出 2020.12.11

この街に通う学生達に卒業後も選ばれる街となるため、駅前にゆとりある公共空間を整備することや美しい水辺の景観づくりなどを求める提言を住民有志と共に市長に行いました。



市営地下鉄西神・山手線 新長田駅リニューアルデザイン総選挙

地下鉄新長田駅コンコース、プラットホーム階の内装や地上の東出入口を一新するにあたり、3つのデザイン案から市民の投票で決定します。

web投票 検索 ※令和3年1月18日締め切り

お問い合わせ・連絡先

■自由民主党神戸市議員団

中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階 電話 078-322-5846 Fax.078-322-6164

■長田区支部 平井まち子事務所

長田区御屋敷通6-1-11 電話&Fax. 078-643-0647(電話は月～金 9時～17時)
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp

市政についてのお問い合わせは
総合的な窓口をご活用下さい。

神戸市総合コールセンター
☎078-333-3330

年中無休 8:00～21:00

自由民主党神戸市議員団

http://www.jimin-kobe.com

【発行 No.2012-YA】

神戸市中央区加納町6丁目
5番1号
電話078-331-8181内線7060

市政報告 (東灘区版)

自由民主党神戸市議員団 東灘区支部

神戸市議員

安井俊彦

http://www.yasui.net/

神戸市中央区加納町6丁目5-1

電話078-331-8181

医療崩壊防止について

コロナ対策医療崩壊として機関民間病院の医療崩壊と経営破綻を防ぐため、市長に直接現状を訴える。コロナに対して神戸市民病院の活躍は目覚ましいものがありますが、それらを支え懸命に努力している沢山の民間病院と町のドクターがそれぞれ医療崩壊や経営破綻の危機にある事から、神戸市東部の三病院長が安井俊彦市議員（自民党相談役）と河南自民党政調会長がパイプ役となって現状を報告し、今後とも市関係と連携を深め医療崩壊も経営破綻も起こさないようにする。久元喜造市長も一市だけで出来る事にも限界はあるが国と相談をしながら市として出来る事を一生懸命やって行くことを言明した。



医療崩壊を防ぐべく久元市長に要望しました

待望のダンジリ記念館(仮称)が実現か！

安井俊彦議員が長きに渡って主張してきたダンジリ記念館（仮称）が実現する見通しとなった。東灘区政70周年記念事業の一環として、歴史文化の中心であるダンジリの魅力を発信し継承する発信基地として、民間の力を借り、阪神間で初めて造られる。現在ある市立住吉幼稚園跡地を、ダンジリ文化をよく理解して下さる方、または企業や団体の御厚情で12億3千2百万円で購入して頂き、建設し運営をして頂く方を公募している。営利が求められるものでなく社会貢献事業となるだけに、安井俊彦議員はもっと低価で出すべきと主張している。また、教育・防災・防犯・絆・経済効果等、ダンジリが果たす事について研究するアカデミックな部屋も欲しいと主張しています。

平生鈺三郎先生が神戸市の小学校と中学校の副読本として教材に採用予定を甲南学園関係者に報告

安井俊彦議員は6年前から神戸市が生んだ偉人平生鈺三郎先生、嘉納治五郎先生、賀川豊彦先生を神戸の子供達に研究してもらいその生き方や人々に対する貢献について知る事によって人格の形成の一助となると考え、あらゆる委員会で提言してきました。当局も作業を始めて下さり、まず小学校4年生の副読本に掲載され、さらに平生鈺三郎先生は特に来年度の中学生のコンピューター学習の一部として採用される予定であります。そこで平生鈺三郎先生によって創立された甲南学園関係者に報告賛意し御協力をお願いした。報告を受けて下さった同学園の長坂悦敬理事長は「神戸市の子供達が学んで下さるなら学園の子供達はもっと平生鈺三郎先生を知らなければなりませんね。」とおっしゃって甲南学園としてもさらに平生精神を発揮し災害にもコロナにも平生精神の「常に備えよ」と語られました。



甲南学園関係者に報告する安井俊彦議員

阪神電鉄連続立体交差点事業について

駅前広場について

- ・青木駅と深江駅には、新たに駅前広場が整備されることとなります。
- ・シンボリックな歩行者空間に加え、一般車の乗降スペースはもちろんのこと、障がい者用の乗降スペースや、タクシー専用の乗降スペースも整備され、魅力的で人にやさしい駅前として生まれ変わるようになります。
- ・また、お祭りの際には、ロータリー部が、地域のシンボルであるだんじりの練り場として利用できるよう、できるだけフラットになるよう整備される予定です。

<駅前整備イメージ(上:青木駅、下:深江駅)>

高架下利用について

- ・連続立体交差事業では、高架下の有効面積の内、15%を公共空間として優先的に利用できることになっています。
- ・阪神電鉄連続立体交差事業においても、公共空間として利用できる15%を利用することになっており、交番の移転用地に加え、青木駅と深江駅にそれぞれ駐輪場が整備されることでほぼ使い切ることになります。残る85%については、阪神電鉄が高架下利用を行うことになり、賑わい施設等の立地が検討されているようです。



今後の予定について

- ・側道等の道路整備については、令和4年度末の完成を見込んでいます。また、防災性の向上や景観への配慮等の観点から電線類の地中化も行う必要があるため、一旦10mの道路空間を確保した上で、令和4年度より地中化の工事に取り掛かれるよう関係機関協議等を行っています。

神戸市 政令指定都市から特別自治市に向けて活動！



特別自治市制度の早期法制化を菅総理に要望しました

自由民主党神戸市会議員団は二重行政解消と神戸市と市民がより良くあたりまえの行政効果を得るとともに、日本国と世界のために貢献できる都市となるために、国からの権限や財源、情報について直接受理できるようにしたいと考えています。この件で安井俊彦議員は25年前に「地方分権に対する私的提案」という小論文を発表したり、また、総務大臣表彰を受ける等、この分野では神戸市会、関西広域連合においても発信を続けています。まず、旧五大都市、神戸、大阪、京都、名古屋、横浜から実例を示したいと願い、それら自治体の議会人に呼びかけ、特別自治市の実現に向かっていい方向に進んでいます。また、久元市長は、現在、政令指定都市市長会の特別自治市実現のために新設されたプロジェクトリーダーでもあることから、共に目標に向かっていきたいと考えています。この件でのいろいろな背景の中でも今回のコロナ問題でも県主体であったことや、神戸市域内からの県税収入額2,320億円に対し、県から神戸市への支出金、交付金は1,030億円で44.3%となっています（令和元年度）。兵庫県事業として、直接執行している金額が含まれていないとしても、県税の神戸市への還元割合は低いと言わざるを得ません。

県税の神戸市域内税収額（令和元年度）

（単位：百万円、%）

神戸市域内からの県税収入額	県から神戸市への還元額	還元割合
232,061	102,732	44.3%

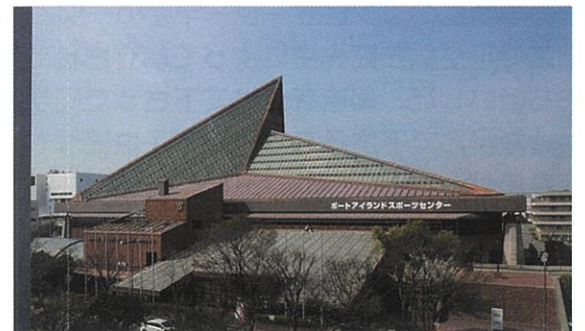
嘉納治五郎ロード実現へ！ ▶嘉納治五郎ロード実現に向けて区長に要望書を手渡しました

安井俊彦議員は、御影が生んだ世界の嘉納治五郎氏を、もっと地元が検証しなければならないと議会で何度も主張した結果、市も同氏を小学校の副読本に掲載する等しています。地元も御影公会堂に記念コーナーを設ける等、私も全力を尽くしました。同氏は大変な平和主義者で、戦争に走る軍部に反して東京オリンピックを世界で決定させますが、軍部によってつぶされ幻の東京オリンピックとなりました。私達は更に同氏を検証するべきとして、郷土史研究者の道谷卓先生からのご提案もあり、御影に嘉納治五郎ロードを設置することを、御影まちづくり協議会（高嶋良平会長）、御影自治会連絡協議会（鍵田武志会長）それぞれが、同時決議して神戸市道路愛称事業事務処理基準に従い作業が進められ、来年4月頃の実現する見通しとなりました。安井俊彦議員はこの件のアドバイザーとなり、行政とのパイプ役となると共に実質議論に入っています。



ポートアイランドスポーツセンターが全面建替えへ

スポーツセンターが築39年になることから、我が会派の安達和彦議員（須磨区）が全面建て替えを提案、市長も令和7年度完成予定で考えたいと発言しました。また安井俊彦議員は、この際客席が同じ2,500席では大きな大会の誘致に競争力がつかないことから、客席をせめて5,000席以上にしよう、11月議会で一般質問をされた安達和彦議員に提案しました。市長はスケート、水泳等スポーツ関係者と相談をしてから決定すると言明しました。同センターからは女子フィギュアの坂本花織選手や三原舞依選手等が育っています。また、上野衣子・平松純子親子によって築かれた兵庫県スケート界の伝統を守り、水泳界のためにも良い施設にするべきだと主張しています。安井俊彦議員の調べでは75億円～100億円の建替えと思われます。



神戸で夜市を提案！

安井俊彦議員は、令和2年11月30日の経済港湾委員会において、夜市を作ろうと提案いたしました。場所はウォーターフロントを利用して中突堤辺りを想定しています。幸いにして兵庫県韓国商工会の皆さんがアジア館を造ってはとの考えがあり、候補地を神戸、尼崎、姫路と色々ありますが、タイ、中国、台湾、インド、ベトナム等の店が並んだ夜市はいかにも神戸らしく、ポストコロナに向けて考案を仕込んでどうかと提案しました。これに対し当局は、コロナで民間投資意欲は減退しているが、関係局と相談して積極的に民間事業者が参加して頂けるような取り組みに対して誘致等を進めていきたいとのことでありました。安井俊彦議員は難しいが主張を続けて参ります。



経済港湾委員会において提案する安井委員

神戸市会議員

ごとう 五島 だいすけ 通信

2021年
新年号

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

ごあいさつ



2021年も新たなスタートを切りました、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2020年は新型コロナウイルス禍での対応に終始せざるをえなかった年でした、未だに正体がかめていないウイルスに対して、緊急事態宣言下の6月までを神戸市会 福祉環境委員長として任にあたり、現在は同 建設防災委員長を務めさせて頂いております。

両委員会は、医療・介護を担当し、また危機管理を担当するため、新型コロナウイルス対策の中心的な委員会ですから、その委員長は重責です。市民の皆様にお叱りを受けながらも、神戸市がどのように対応するのがベストであるかを、会派の同僚議員や委員会のみなさまと頭を悩ませながら取り組んで参りました。

年末にかけて感染が増加してきておりますが、自由民主党神戸市会議員団から実効性のあるコロナ対策・経済対策に引き続き取り組んで参ります。新型コロナウイルス対応については、裏面でご報告させて頂きますので是非お読みください。

電子市役所の整備へ [DX：デジタルトランスフォーメーション]で市役所を便利に

- 役所に行かなくていいからラク!
- 市職員の負担も減って、税金も節約できる!
- 「プッシュ型」なら自分からアクセスしなくてもぴったり合う情報が届く!

昔ながらの窓口はコロナも怖いし
時間もお金もかかる!



キーワードは「プッシュ式」

保育園の申し込みなど、窓口に行かなくても各種申し込みができる



お子さんの年齢等にあわせて、必要な手続きやお得な補助の案内を送信



特に申し込みをしなくてもコロナ対策のクーポン(マスク引換券など)やポイント式の給付金が届く!



色々申し込みなくても来てくれる!

選んだルートや住んでいる住所をもとに、交通事故や渋滞の情報を送信

市税・保険料等のオンライン支払い(郵送いらず、税金節約!)

用紙不要

行政ではなく市民の利便性が向上する事がDXであるべき

五島 デジタルトランスフォーメーションを推進し、市民がいつでもどこでも早く簡単に行政サービスを利用できるスマート自治体の実現を目指しています。スマート自治体の実現には、市民理解の醸成と市民の利便性の向上が最も重要な視点と考えられます。例えば市税や保健料等の今郵送で行っている手続きをオンラインでの請求、支払い、そして保育園の申し込みなどもオンラインでできるのではないかと考えます。行政手続のこれらのような原則オンライン化などによる仮想電子市役所を推進し、市民がデジタル社会の恩恵を実感できる取組が必要と考えますが、どうでしょうか。

久元市長 具体的には、電子申請、ウェブサイトを通じた郵送申請の支援、申請内容の事前登録などの窓口滞在時間の短縮が重要です。

目標といたしましては、現在、電子申請されていない手続約1,000種類、総申請件数が約234万件ありますが、これを2025年度までに申請の約70%、164万件をスマートな方法で手続できる環境を整備したいというふうに考えております。

これを進めるに当たりましては、市民の皆さんが実際にこの手続を利用することによってサービスが向上したということが実感していただけるような工夫をしていきたいと思っております。

五島 電子市役所、スマート市役所の実現には、個人情報を利用したプッシュ型の通知というものが欠かせないものになるのではないかと考えておりました、コロナ禍でもいろいろの問題になりましたが、色々な補助金や助成金などの個人への配分、これがポイントなどを利用して可能になるのではないかとあるとか、ふだんの生活上での問題とか情報の通知をプッシュ型で必要な方に届ける。例えば、ある地域に住んでいる方に特定の渋滞情報をお伝えしてあげる事も可能になってくるのではないかと考えております。この情報の管理については、オプトインとオプトアウトというものがあるんですけど、これはオプトイン型にしなければいけないと考えますが、どうでしょうか。

久元市長 一定の属性を持った方々を対象としてオプトインでプッシュ型の情報を提供するという事は、これはもう既にいろいろな実験が行われていることは承知しておりますが、まだ市役所ではこのあたりの取組は十分ではない、やれるものからやっていきたい。

五島 力強く進めて頂くようお願いいたします。

電子市役所でラクラク便利・効率的な神戸市へ!



敬老パス福祉パスを神戸電鉄でも使用できるように



敬老優待乗車証
福祉乗車証

五島 以前から、神戸電鉄沿線地域は、他の地域と異なり、鉄道の代替交通手段となるべき路線が充実していないため、敬老・福祉パスの対象区間に追加するように要望してきた。今年6月、北神急行線の市営化に伴い、新神戸から谷上間が対象区間に追加されたが、同じ北区内で取り残された神戸電鉄沿線の高齢者や障害者などにも支援の手が行き届くように、さらなる対象区間の追加をお願いしたい。

恩田副市長 有識者会議の報告では、制度の持続性という観点から鉄道まで広げるのは現実的ではないとされている。ご承知の通り平成27年から神鉄シーパスワン事業が実施されており、現段階では敬老福祉パスのさらなる拡大は難しいのではないかと考えている。

五島 敬老福祉パスを見直す時に、値上げであったり、負担増があることは分かっていたのですが、負担の公平性が担保されていなかったり、無料乗車券のおかしな使い方があった事などから、市民の皆さまに怒られながらも仕方なしに承諾したところですが、

ですが、ただ市民負担が増加するだけじゃあくだらんから、その代わり、いろんなことを頑張ってくれよと言ってお願いさせていただいたのがこの文章です。

敬老・福祉パス見直しに関する要望

- コミュニティバスなどの近距離機関を対象とすること
- ひとり親世帯の小中学生を含むことも通学費助成
- 神戸電鉄への適用を検討すること
- 交通局に対して経営努力と本制度への協力を求めること
- バスから鉄道への乗り換えに割引制度を導入すること等

敬老福祉パスが、もともとバスで近距離の方を助けようという政策なのは分かっていますが、それにしても運賃が高いから何とかして欲しいという事で実現しているのが、これがシーパスワンなわけですが、満足はできていません。

先ほど恩田副市長は専門家会議とおっしゃいましたが、**政治決断というのは専門家会議の言うことを聞く必要はない**のです。しかも専門家会議の中で、敬老バスはバス中心という話になっていると言いますが、**それではなぜ市営地下鉄では敬老福祉パスが使えるのか?**敬老・福祉パスの予算に関しては50億という上限があるという話をされますが、なぜ他局にわたって我々がこの要望書を出させていたかという、他局間連携して、高齢者、障害者、もちろん一般市民もそうなんですけども、そこを優先して移動の自由をより確保してあげてくれよという意味でこの提言書を出させていたわけですね。では聞きますが、**交通局に対して今回の制度変更によって収入の増加が見込まれるわけですが、それに見合った経営改善をやって、神戸市もしくは広い地域の皆さんに恩返しをしてくれ**という要望もさせていただいてますが、これは進んでいますか。

今西副市長 交通局につきましては、大変厳しい状況でございますけども、経営改善をして、市民のためにできるだけ還元していくということについては常に考えながら事業経営をさせていただいているところです。

五島 今のところ、見えてきている動きというのはほぼない。ないです。ただ、この制度の変更によって負担が増えるという市民の皆さんの声だけは我々にも届いています。

今回のこの制度の変更ですが、**50億の枠の中でどうするかという話になってしまっている。この50億の枠の中での変更というのは、市民の取り分が減ってバス事業者さんに行ってしまうわけですが、間違いなく、敬老福祉パスの制度があるおかげで、バス事業者さんには増収の効果があるので、利用者と事業者の間ではウィンウィンの関係が成り立たなければならないところを、事業者の利益だけがが増えて利用者の負担が増えるだけになってしまっているのは交渉の失敗**です。

地域の皆さんの移動の利便性を確保していただきたいというのは、私も当選以来から

50億円の予算内訳		変更後
敬老パス (ICカード)	15億円	22億円
敬老定期	2億円	2億円
敬老無料乗車券	15億円	廃止
バス近郊区上限110円	3億円	廃止
福祉パス (障害者等)	12億円	12億円
福祉パス (母子世帯)	3億円	廃止
北神急行分増額	-	2億円
ひとり親高校生補助	-	4億円
ボランティアポイント等	-	1億円
合計	50億円	43億円

- 差額の7億円は交通事業者へ
- そもそも50億円の枠が少ないのでは?

三宮JR駅ビル~新ツインタワーへのデッキについて

五島 このデッキの形状を見ると、単純なる渡り廊下のようになっていますよね、歩くことしかできない。昔から神戸は狭いから、平らなところが欲しいから海を埋め立ててなんだかんだやってきた、道路潰してクロススクエアとかいう話をしている。**デッキをもうちょっと広げて、その上で商業ができるようにという考えはないのか?**

都市局担当部長 ご指摘のとおり、このデッキというのも単に通行空間にするというのでは、もうやはりもったいないと考えてございます。このデッキというのが交通センタービル、それからJRビル、バスターミナルをつなぐ景観的にも玄関口としても象徴的な空間になりますので、単なる通行空間だけでなく、**例えばちょっとしたたまり機能であるとかにぎわい機能であるとか、やはり神戸はフラワーロードを抜ける景観が非常に優れてますので、そういう視点場機能を持たせられないか、取り組みたい。**

五島 デッキを広くして、カフェなどの小規模な店舗などを入れれば、賃貸収入を得る事も考えられる、また、にぎわいづくりにもなるのだが?

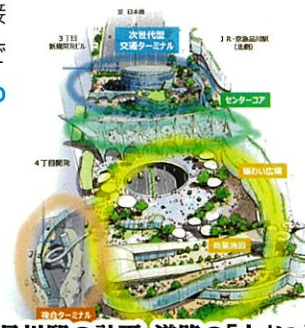
都市局担当部長 デッキの上に例えば商業施設を建てると、これ公道上に恒久的な建物を建てるとなると、それはそれで道路法上の課題も出てまいります。

五島 だからやらないという事であれば残念ですね。**品川駅の西口ではデッキの上に建築物である交通センターやいろんな物をつくる話もあるのに、なぜ神戸では出来ないのか?**

デッキは2階になるが、この2階部分とデッキとが接している部分をまるで1階の路面店のように出入りできるように出来ないか? そのような**規制緩和も含めて考える事で格好いい都市にすべき**と考えます。



三宮交差点を歩道化する計画



東京都・品川駅の計画。道路の「上」にあるデッキを活かしたにぎわい空間の演出

3本しかない東西のメイン道路をつぶして、三宮交差点を歩道化する計画は渋滞を間違いなく引き起こす(品川駅西を通る国道15号の交通量 65,000台/日 三宮交差点の交通量 42,000台/日)。**この交通量を迂回でさばけない事は火を見るよりも明らかではないだろうか。品川西口のように、道路上の空間を利用して未来都市のスペースを確保する計画をなぜ描けないのか?**

JR三宮駅ビル再開発の一時停止について

五島 JR三宮駅ビル白紙化と言われているが、これは事業の見直し、業種・業態も含めた見直しをするという話だった。

だが、例えばJR西日本の乗客が減っている中でも三宮のJRの新駅ビルに投資する価値があるのであれば、要は不動産的な価値があるんだったら、今すぐにも造ると思うんですよ。しないということは、この三宮の……これは我々全員反省しないとイケないんですけど、**残念ながら商業的な投資の価値が非常に低いと見られてしまっている**ということで、これはもう真摯に受け止めないといけな事なのです。

雲井通のツインタワー1期についてはもう民間開発という事で動き出しているが、これから民間に募集を出す2号館の北側の、**要は商業部分は、今売り時なのかどうか**というのは考えたほうがいいのではと思うんです、来年なんかにはコンペを出したらですよ、**いつもだったら例えば定借で200億円ぐらいの収入が入るはずのところを来年売ったがために100億円にしかならないとか、あまりいいテナントが入らないとか、そんなことにもなりかねない**、その辺をもうちょっと柔軟に考えるべきじゃないかと思うのですが、スピード感ばかりを重視するのですか?

都市局都心再整備本部長 2号館につきましては、今学識経験者の方々と、計画論として、コロナをにらんでどうすることが必要かというのを今議論させていただいています。それから、マーケティングサウンドといいますが、民間の事業者が、今先生言われたようなことも含めて、2号館のことをどのように見ているのかということについて改めて聞いているところです。その結果、**めちゃくちゃ条件が悪いというのがあればですね、それを無理やりスケジュールどおりやるというのめいかなものかというのも当然思いますし、そうではないという業者といいますが、提案なりお話があれば、それはそれで進めていってもいいんじゃないかと思っておりますので、もう少し民間のほうの情報をよく精査をさせていただいて決めていきたいと思っております。**

五島 そのサウンディング調査なんですけど、例えば5者ポジティブだったと、このポジティブの5者が、これやりますからぜひ公募に出してくださいって言われてやりましたよとなった場合、ポジティブなのが5者おろうが10者おろうが100者おろうが、うちの売値

なっていますが、本当に大事なタイミングですので、必要な議論をさせて頂いております。

が変わらないのであれば、やっとならいいかもしれないですけど、そういうことじゃないですよ、公募に出すんですから。より収益が上がるもの、もしくは三宮にとっていいものを募集しようとしたら、タイミングとしてはやっぱりたくさん応募してきてくれるほうがいいに決まってるし、これをうちが2号館を先にやることでJRのほうも、「うちもちょっと商業床を減らさなあかん」とか、そういう検討材料にされてしまったらこれまた逆効果になったりということもあると思うんですね。非常に難しいんですけど、「本当に大丈夫かな」と、一市民としても思うんです。売り時として大丈夫なんですか？

都市局都心再整備本部長 我々としては大丈夫かどうかというのを市場調査なり、学識経験者の方との議論の中で見つけていきたいという趣旨でございます。また、JRのほうから2号館の開発があるからどうのこうのという話は今のところはございません。

⇒現状 2021年に公募で売り出そうとする計画になっているが、都心にある大事な市民の財産の売り時としてはどうか。今は立ち止まるのも勇気ではないかと考えます。

立ち止まるのも勇気ではないかと考えます。



2号館併設の音楽ホール計画について

五島 2号館に音楽ホールを造るといふ計画があります。マーケットサウンディングの事業者さんの回答で音楽ホールを自分とて経営させてほしいといった声は1つでもありましたか？

都市局都心再整備本部長 あったかというとなかったという答えになります。今の枠組みのイメージは、音楽ホールは公共施設として市のほうで所有をしまして、運営はどうするかというのはこれからの検討でございます。

五島 私が見たところ、音楽ホールについては、神戸市が自分でやってくださいねという声しか見ていない。ぜひ音楽ホールをさせてくださいという声はないわけですよ。

なぜかといったら、もともとホール事業は儲かるものじゃないわけですよ。神戸国際会館に国際ホールがありますけど、あそこもホール以外のテナントの賃料をもって経営を成り立たせているわけです。2号館の音楽ホールをどうやって維持するのかといったら、民間は音楽ホールに対する負担はしないということじゃないですか。今、コロナのこの状況で、しかも大倉山にある大ホール、中ホールを三宮のツインタワーに移してくる、その上もう1つ新しい音楽ホールを造るといふ必要性というのはいささか吟味したんですか？

都市局都心再整備本部長 そこは文化スポーツ局の所管にはなるかと思えますけれども、我々としてはここが1番最大のにぎわい効果となり、神戸市にとって、あるいは三宮にとっていい開発になるかどうかということを見つけていっているということでございます。

五島 直接の所管は文化スポーツ局だというのは分かるんですけど、三宮のデザインをするのは都市局なわけで、2号館に音楽ホールを造ったほうが三宮のためになるのか、別のものを造った方がいいのかという検討は、都市局がするわけじゃないですか。

私も音楽関係者に結構聞いたんですけど、「いや別に要らんで」という声結構あり、むしろ、音楽ホールは800人規模の中ホールと一緒に規模なので、例えば100人とか200人ぐらいのコンパクトな、もっとラグジュアリー感のあるものを造ったほうが神戸らしくないかという声も逆に頂いたりして、そっちのほうがよほど具体的にいいのでは？とも思うのです。

音楽ホールのニーズというのは、利用見込みも含めて、多分そんな数字ないと思うんですけども、ニーズ調査がありますか？

都市局都心再整備本部長 今私持っておりません。いろんなイベントとかコンサートのようなものであれば、例えば国際会館のようなところでも全然できるんじゃないかと思えますけども、そういった本当に音を重視するような演目はそういうところでやりたいという声もあるというのは聞いてございます。

五島 嫌な言い方になりますけど、私のとこでも聞くような定性的な話ではなく、定量的なエビデンスがないといけません。ホールがあった方がいいのは分かるが、ニーズの把握は必要です。把握は文化スポーツ局の担当かもしれないが、三宮のど真ん中に必要かどうか分からないものを他局が作るんですわという話では都市局の職務怠慢になってしまう。

三宮再整備の全体事業費内訳		単位：億円	
	全体事業費	うち市負担額	
バスターミナル1期	1,000	520	
バスターミナル2期	5,360	360	
三宮クロススクエア・駅前広場等	130	70	
JR駅周辺・デッキ整備等	280	125	
新中央区総合庁舎整備	105	95	
庁舎整備移転費用	105	105	
本庁舎2号館整備・体育館移転整備	360	195	
2号館併設音楽専用ホール	100	100	
合計	7,440	1,570	

数字は神戸市の経済効果報告書より抜粋・あくまで概算値とされている。ちなみに、一億円というのは市民一人当たり六十七円(百五十万人で計算)

⇒現在都心に、神戸国際会館こくさいホール、松方ホール等があり、そこへ大倉山から大ホールと中ホールが移転する計画になっているが、その上さらに中ホールと同規模の音楽専用ホールが必要なのか？

政令市として色々な施設を持ちたいという感覚は分かるが、コロナ禍で財政も厳しい中、急いで投資すべき対象であるとは考え難い。それでも芸術文化への応援は必要だと考えるが、ハード面の整備としてホールを作るよりも、日常の練習などの活動や、コンクール参加のためのソフト的な支援のほうが当事者のためになるのではないだろうか。

また、「景気が落ち込む今こそ公共投資を」という考え方もあるが、例えば道路工事などは国費が半分入るが、役所建て替えやホール建設は100%神戸市負担になる、市民の財産を有効に使うという意味でも投資先は厳選する必要があります。



物流用地の確保について

五島 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、商業用地のニーズは落ち込んでいる中ですが、物流用地については、コロナ禍においても高いニーズが続いております。市内外の物流事業者から、平成30年度の高潮被害を契機に、臨港エリアから内陸エリアの移転、それから首都直下型地震に備えて関西圏で新たな物流拠点の確保をしたいという声もあります。

ですが、本市では十分な物流用地がないという状況です。物流用地に利用できない内陸エリアの産業用地の用途を変更するなど、内陸エリアの物流用地確保に向けて積極的に施策展開すべきではないか？

今西副市長 複合産業団地の流通業務施設用地は、流通業務市街地の整備に関する法律という法律で整備をしているものでございます。製造工場用地は、別の法律でやっております、違う法律体系のものが1つの団地にあるというような状況で、元来でいいますと製造工場用地に流通施設を設置するということは難しいというような状況でございますが、そういった中でも製造工場用地に弾力的に物流用地を整備する対応をしていきたい。

五島 土地がないとか、法律上難しいとかという話をしてしまうと、ニーズがあるのに指をくわえて見ていてやらないということになる、本当に要ることですからやっていただかないといけません。

これから物の運び方も変わり、連結トラックを使ってやるとか、いろんなことがあります。なので、内陸の物流用地というのは絶対に必要になってきますので、これは絶対にやらないといけません。

また今の物流施設というのは、非常に規模が大きくなっておりまして、2万~4万平米の大きな物流倉庫が建つわけです。固定資産税でいうと鉄筋コンクリート造りのもので造ったら、都市計画税と合わせて固定資産税が平米当たり1,700円ぐらい、神戸市の収入になるということです。1万平米だったら1,700万です。お分かりですよ、フロアの収入を生むことにもつながるわけです。ニーズがあるんだから、しっかりやらなければいけません。用途地域の変更も、絶対に推し進めていかなければいけないことだと思います。

今西副市長 内陸の産業団地も、残り少なくなってきたということをお知らせしたけれども、現時点で残っておりますのが26ヘクタールほどまだ用地がございます。そういう用地をどういうふうに分けていくのかということにかかってくるというふうな思いしますので、企業さんの御要望も聞きながら、できるだけそういうニーズに対応してまいりたい。

⇒物流用地については臨港にも内陸にも不足していると長年言ってきました。複合産業団地の弾力的な運用は行うとの事ですが、物流用地を整備する事で、雇用の確保、固定資産税という税収の確保、港湾の集荷施策推進にもつながるため、ニーズがどうなるか分からない三宮の商業地よりも早急に取り組むべき課題です。別途市長への予算要望において、市街化調整区域の用途変更も含めて物流用地の確保に努めるべきと要望しています。

他でも、せっかくの阪神高速5号湾岸線の西伸部整備が10年後に完成予定であるのに、新たな事業用地の開発計画が全くセットされていない事も残念なのです。六甲アイランド南のフェニックス計画による埋立地に新たな物流機能を備えた新ロジスティクスターミナル整備を将来像として描いていますが、これはいつ完成するかも分からない絵にかいた餅に過ぎない計画です。さっさと完成させて高速道路完成と共に物流機能をスタートさせるべきであると港湾局に対して決算質疑を行っています。



三十年かかるか四十年かかるか分からない計画では、完成したとき神戸港の優位性やニーズもどうなっているか分からない……

神戸港ロジスティクスターミナル(完成予想図)

コロナ対策で 取り組んできた事項

本年6月までコロナ対策に携わる最前線である福祉環境委員会の委員長を拝命して
おりました。(所管が保健福祉局：市内の医療・介護、中央市民病院などを統括する局)
任期中、特に緊急事態宣言が発令されてからは、会派・委員の皆様の協力により
様々な対策を提言・実行させて頂きました、市民の皆様にお叱りを受ける事も多々あり
ましたが、他都市にない対策も数々実行する事が出来ました。市民の皆様からの多く
のご意見ご要望に感謝しております。

民間宿泊施設などでの軽症患者受け入れ

病床が不足する事が予測されたため、法規制の許す限りの中で可能な限り早く無症状と軽症の方をホテル等で受け入れ
できる体制を組むよう指導。速さを競う訳ではありませんが結果として大阪府よりも早く宿泊
施設でのコロナ患者受け入れがスタートしました。現在も3施設にて継続中です。



おうちごはんプロジェクト

- コロナで仕事が減り子どもたちの栄養状態が悪くなることを解消するため
- テレワークの推進により家に両親がいて食事を作る回数が激増したことによるストレス解消のため
- 売り上げが減少している飲食店のテイクアウト販売を少しでも伸ばすため

という事でテイクアウトクーポンを子育て世帯に配布する予算を要望。予算化はされませんでしたが、この思いが有志の皆さんに伝わり、「1.17希望の灯かりを運営するHANDS」さんの協力もあり、寄附事業としてお弁当クーポンを小学校で配布する事業が実施されました。



妊婦タクシーチケット

誰でもコロナへの不安はありますが、特に妊婦さんは薬が飲めないで感染する訳にはいきません、あるご家族からの声に応え、妊婦さんにタクシーチケットを配布し大規模交通機関に乗らなくても健診などに行けるよう要望、これは予算化され多くのご家庭から賛意を頂きました。今後もこの予算を継続できるよう取り組んでおります。



こうべ版コロナ家賃支援

緊急事態宣言下において、売り上げが全くなくなってしまった主に三宮の飲食店等テナントに入っている方からの要望があり、国の動きに先駆けて家賃支援をするように署名活動の支援・神戸市および経済観光局への要望活動を行いました。

その結果、短期間で4,627筆もの署名を頂き、当局への提出に立ち会い致しました。

結果として、家賃補助予算が実現し、賃貸1オーナーあたり200万円を限度とした家賃補助が実施されました。また、この動きがモデルとなり、国においても家賃支援補助が行われる事になりました。国をも動かす事ができたのは市民の皆様の思いの強さからですが、この動きに主体的に関与する事が出来、議員として成長させて頂きました。



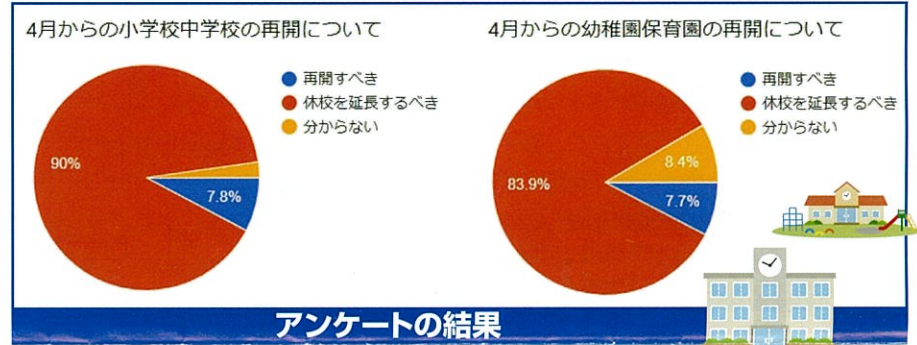
神戸版GOTOキャンペーン

有馬温泉のみなさまを中心に、宿泊業界のみなさまから、コロナで大打撃を受けた宿泊業界に対しての支援要望がありました。他都市でも地域内での宿泊クーポンが発行される中、神戸市の対応が遅いため強く要望を続けました。その結果、神戸版のGOTOキャンペーンを宿泊期間2月～6月というスケジュールで実現しました。現状では2月からの実施は全国の動きを見ながらになります。



学校園再開可否の意識調査

新型コロナウイルスの国内感染拡大があった2020年の3月から、学校・幼稚園・保育園などが休校休園になっていました。4月6日から始まる新学期での登校登園再開の可否について様々な意見がありました。未だに正体不明なコロナウイルスに対するご心配を持たれている保護者のみなさまが多いと考えられる中、市民のみなさんがどう考えておられるのかデータがないため、独自にアンケート調査を行いました。わずか48時間のアンケートで3,000件の回答を頂きましたが、結果は9割が登校登園はやめた方がいいというものでした。このアンケート結果を市長および教育委員会へ提出し、学校園の休校休園が延長される事が決定されました。



アンケートの結果

結果的に、翌日の4月7日から政府が緊急事態宣言を発令し、全国の学校園が休みに
なりましたので、アンケートの効果はたった1日しかありませんでしたが、回答頂いた保
護者の皆さんからは、意見を言える場があって良かったとの声を多く頂きました。

行政側が分かっているようで分かっていない、市民の皆さんの声・意見を知る手段の
必要性を改めて感じたところです。

表面でご紹介した電子市役所では、このように市民の皆様の生の声をお聞きする取
組みも可能にしなければならないと思っております。

こうべ医療者応援ファンド設立要望

医療者応援のため、大阪が先んじて医療ファンドを設立し、寄附を集めていました。

「良い事はそのまま真似をしてでもいいから神戸市でもファンドを設立し、医療従事者を応援するべきだ。」と、会派を通じて市のコロナ対策本部へ要望、ファンドが設立され、2020年末時点で5億8千万円のご寄附を頂き、医療従事者のみなさまへ随時配分をさせて頂いております。



さらなる具体的施策の提言へ。皆様からも、ぜひご意見・ご要望をお寄せください。

これらが特に私が関係したコロナ対策でした。2020年7月からは建設防災委員会の委員を務めておりましたが、諸事情により11月からは委員長を担当させて頂いています。

この市政報告を編集している12月下旬にもコロナ感染者は増加し続けております。具体的な施策が乏しいとお声を頂いており、当局へは、例えば既に国でメニューのある飲食店での時短協力を要請すると共に、年始には各飲食店さんへ時短協力金の支給をすべきだと要望をしています。また、新型コロナウイルスの症状について、病気の正体を明らかにするため、年齢別の症状の進行～回復までの統計を発表する事や、抗体検査の断続的な実施によるデータの蓄積を行う事なども要望しております。

今後も、実効性のある対策を提言して参りたいと思っておりますので、皆様からもご意見ご要望をお寄せ下さいますようお願い致します。

